

10. 総合型選抜に関する Q&A

I. 総合型選抜【事前面談型】の Q&A

Q.1 総合型選抜【事前面談型】を実施する目的は何ですか？

A.1 従来の大学入学者選抜制度では、受験生の自己アピール能力や、学科試験の点数などによって合格者を決定しています。しかし、各大学の学部学科の特色が明確になるにつれて、勉学や将来の進路への目的意識をもった人がこれまで以上に強く求められるようになってきました。これからは、受験生の希望や目的意識が、学部学科の教育方針と十分に合致することが必要です。

倉敷芸術科学大学では、明確な目的意識をもった受験生を受け入れることを目的に、総合型選抜【事前面談型】を導入しています。本学の総合型選抜【事前面談型】では、学部学科の教育方針や求める人物像を受験生の方に理解していただくとともに、持参作品、適格者確認調査、レポート課題、面談などにより、本人のやる気、将来の可能性などを総合的に評価していきます。

Q.2 受験生にとって総合型選抜【事前面談型】はどのようなメリットがあるのですか？

A.2 総合型選抜【事前面談型】においては、受験生の方の提出された相談票をもとに時間をかけて面談を行います。その中で、学部学科の教育方針や求める人物像と合致しているか確認します。

一方、受験生の方には自分のやりたい勉強や研究ができるかどうか、不安要素などあれば質問をさせていただきます。こうして面談を通じて、お互いの理解を深めることができます。

Q.3 総合型選抜【事前面談型】はどのような方法で選考するのですか？

A.3 主に面談による総合的な評価になりますが、芸術学部では持参された作品の評価と適格者確認調査の結果、生命科学部と危機管理学部では適格者確認調査の結果、生命医科学科では適格者確認調査の結果に加えレポート課題も選考の材料となります。

Q.4 総合型選抜【事前面談型】で合格したのですが、入試特待生をめざし、あらためて受験できますか？

A.4 総合型選抜【事前面談型】は専願制入試ですので、合格した場合他の入試を受験することはできませんが、入試特待生をめざしたい場合に限り、入試特待生制度のある入試「総合型選抜【文武両道型】・学校推薦型選抜【推薦K方式】・一般選抜【前期A、前期B】」を受験することができます。

また、一般選抜【前期A、前期B】においては検定料免除で出願できます。

※合格学科を変更して出願することはできません。期限どおりに入学手続（学費の納入）を行うことが出願条件となります。

Q.5 総合型選抜【事前面談型】で出願不許可になった場合、他の入試を受験することはできますか？

A.5 総合型選抜【事前面談型】では同じ学科は1度しか面談を受けられません。総合型選抜【文武両道型】あるいは学校推薦型選抜、一般選抜等は受験可能です。また、総合型選抜【事前面談型】で他の学科の面談を受けることは可能です。

Q.6 高校在学時に運動部で全国大会出場の成績を残しました。この成績でデザイン芸術学科の得意特化特待生を応募することは可能ですか？

A.6 得意特化特待生は、高校での課外活動や資格など、学力とは別の実績を評価します。高校での活動実績と大学で学ぶ分野の関連性がなくても応募することは可能です。ただし、原則として8ページ記載の条件

を満たしている者が対象となります。得意特化特待生に選ばれ入学した場合には、大学での学業成績が一定基準を満たしているか、本学入学後も課外活動を継続して実施することが条件となります。

Q.7 高校での取得資格が評価され、得意特化特待生に選ばれました。大学入学後にどのように課外活動を実施すればよいのでしょうか？

A.7 個々の事情によって対応措置が異なりますが、新たな資格の取得やゼミにおいての知識の向上、将来の就職に向けての対策等、大学としてできる限りのサポートをしますので、なんらかの形で継続して実施していただくことになります。

Q.8 高校での課外活動において、チームの中心的な役割は担っておらず控えでしたが、得意特化特待生の対象となりますか？

A.8 「出場」しているかが特待生の対象となります。また、本学での活動においては、中心となって学業と課外活動で活躍していただけるよう努力できるかが重要となります。

Q.9 新型コロナウイルス感染症拡大によって高校3年生の大会が中止になり、実績が出せなくなりました。出願できますか？

A.9 高校3年間の実績で自信のある成績1つを書いてください。分野によって有利・不利が無いように検討します。

Ⅱ. 総合型選抜【文武両道型】のQ&A

Q.10 総合型選抜【文武両道型】を実施する目的は何ですか？

A.10 現在文部科学省は、アクティブラーニングという学習方法を推進しています。生徒が主体的に授業に参加できるグループワークは、アクティブラーニング型の授業方法のひとつで、多くの教育現場で取り入れられるようになっていきます。

大学卒業後、仕事をする上では自主的に動けるか、他者とのコミュニケーションは円滑にできるのが重視されます。

そのため、大学では、人間力、コミュニケーション能力、リーダーシップ能力の高い優秀な学生を育成し、社会人として技術者として社会に貢献できる人材を養成することが求められています。

グループワークを実施する目的は、主に書類選考や面接だけでは評価しきれない部分を評価することです。グループワークでの参加者の行動を観察することで、主体性やコミュニケーション能力、人柄や行動理念などを把握することができます。

総合型選抜【文武両道型】では、グループワークを実施し、主体性や性格だけでなく、チームワーク力などを見極めることで、大学での中心となり活躍していく人材を確保することを目的としています。

Q.11 総合型選抜【文武両道型】に応募しようと思いますが、高校での活動で優秀な成績がないと受験できないのでしょうか？

A.11 応募資格としては、問題ありません。文武両道の趣旨は「課外活動と課内活動の両立と継続」と考えています。優秀な成績をあげれば、加算点を与えられますが、合否および特待生は、最終的にはグループワークを含めた総合評価によって決まります。文武両道特待生に選ばれ入学した場合には、大学での学業成績が一定基準を満たしているか、本学入学後も課外活動を継続して実施することが条件となります。

Q.12 高校在学時に運動部で全国大会出場の成績を残しました。この成績でデザイン芸術学科の文武両道特待生を希望することは可能ですか？

A.12 可能です。ただA.11で示した通り、文武両道の趣旨は「課外活動と課内活動の両立と継続」です。ただし、文武両道特待生に選ばれ入学した場合には、大学での学業成績が一定基準を満たしているか、本学入学後も課外活動を継続して実施することが条件となります。

Q.13 文武両道特待生にはなれませんでした。その場合出願することはできませんか？

A.13 出願許可通知が届けば出願可能です。ただし、その場合は特待生としての特典はありません。出願してからは専願制となり、合格した場合他の入試を受験することはできませんが、再度入試特待生をめざし、学校推薦型選抜【推薦K方式】・一般選抜【前期A、前期B】を受験することができます。

Ⅲ. 総合型選抜【事前面談型】、総合型選抜【文武両道型】共通のQ&A

Q.14 総合型選抜【事前面談型】と総合型選抜【文武両道型】はどこが異なるのですか？

A.14 総合型選抜【事前面談型】では、持参作品（芸術学部）、適格者確認調査（全学部学科）、レポート課題（生命医科学科）および十分な時間をかけた面談（全学部学科）によって本人の能力や資質を多面的・総合的に評価します。一方、総合型選抜【文武両道型】では学科試験を課さず、グループワーク、高校での活動記録、提出書類（調査書を含む）などによって評価します。従って、総合型選抜【事前面談型】は、高等学校の調査書は面談の申し込み時に提出する必要はありません。面談後の出願時に提出していただきます。

Q.15 受験し特待生制度から選考漏れした場合は、入学辞退は可能ですか？

A.15 可能です。出願許可通知を受け取り出願した時点から専願制となります。

Q.16 高校での課外活動が、本学では活動の無い分野や競技の成果であっても、受験は可能でしょうか？

A.16 本学サークル活動には無い競技や分野においても、在学したまま所属可能な社会人チームやクラブで活動が継続できる場合は可能です。上記のいずれも受け皿が無く、活動の継続が不可能な場合は残念ながら受け入れできません。

Q.17 入学後のケガ等で競技を続けられなくなった場合、特待生制度を受ける資格を失うのでしょうか？

A.17 本人の責任に帰する事情で無い場合は、その限りではありません。原則として、課内活動の成績や課外活動の継続実態等々が規定に抵触した場合に資格を失うこととなりますが、個々の事情によって対応措置が異なります。学生本人がなんらかの形で努力を続けようとする場合には、大学としてできる限りのサポートをします。

Q.18 在学中に特待生制度そのものが取り消しとなることはあるのでしょうか？

A.18 休学した場合や、学生としての本分に反する行為があった場合にはそのような措置を取ることがあります。また、特待生として採択された学生が、一定の成績基準（※）を2期連続で満たさず、課外活動においても優秀な成績を収めることができなかつた場合には、学内の審議を経て、特待生の資格を取り消すことがあります。

※文武両道特待生の学生は上位1/4位内を、得意特化特待生の学生は上位1/3位内を維持することが求められます。

Q.19 現役生（高等学校3年生）しか受験できないのですか？

A.19 現役生（高等学校3年生）に限らず、高等学校を既に卒業している方、高等学校卒業程度認定試験合格（見込み、大検も含む）の方も受験できます。

Q.20 総合型選抜は専願制ですか併願制ですか？

A.20 総合型選抜では、選考終了後、出願許可通知を受領してから出願となりますが、その出願される時点で専願になります。なお、選考の申し込み手続きは無料です。出願する際に検定料が必要となります。

Q.21 合格後に課題提出などの入学前教育があるのですか？

A.21 各学部学科によって異なりますが、課題提出や大学での講義等を予定しています。昨年度の実施状況は以下のとおりです。

・デザイン芸術学科

デッサン、絵画、造形物等を制作し提出して頂きました。

・メディア映像学科

与えられたテーマをそれぞれに解釈して作品制作（制作手法や分野は自由）あるいはレポート作成（文体やスタイルなど自由）のどちらか一つを提出して頂きました。

・生命科学科

入学決定者に対し、夢をかなえるにふさわしいアドバイスができるようレポートを提出して頂きました。また、基礎学力が身につくよう課題を与えました。

・生命医科学科

大学入学後に学ぶ上で事前に必要となる基礎知識を出題し、提出して頂きました。

・動物生命科学科

入学決定者に教養や生命科学関連分野のレポートを提出してもらい、添削しました。

動物生命科学科での教育を充実したものにするため、未履修の理科科目等について基礎として必要な学習範囲を設定し、入学後、学力調査を実施しました。

・健康科学科

学科からの課題（基礎学力問題および資格に関するレポート作成等）に対して各自が回答・レポートを提出し、それについて教員がコメントやアドバイス等を行いました。

・危機管理学科

合格者に、危機管理意識に関するレポートや作文、および基礎学力に関する課題を出し、それらを提出して頂きました。

課題1（入学前提出）：「身の回りで感じた“危機”または“危機管理”について（作文）」

課題2（入学後提出）：「危機管理のセンスを持った社会人をめざすための意識づくり（レポート）」

課題3（自宅自習）：基礎学力の習得と勉学習慣の維持

※なお、入学前教育の詳細については合格後、本人に通知します。

Q.22 外国人留学生は総合型選抜を受験することができますか？

A.22 受験することはできません。外国人留学生選抜を受験してください。